

「Yurikago Nature Center」

～ 七国用地の現状と展望 ～

H23.6.24 Yurikago

七国新用地の現状と展望について、現在わかっていることをご報告致します。

まず、用地の名称が決まっておりましたが、「Yurikago Nature Center（ゆりかごネイチャーセンター）」とし、整備を進めながら園が移転するまでの間も子ども達が定期的にご利用していきます。現在は敷地内まで園バスが入っていく事ができないため、来月より進入路の工事などを始め、いよいよ本格的に環境整備が始動します。

秋には親睦会を予定しておりますが、工事が予定通り進捗すれば皆さんへのお披露目を兼ね、Yurikago Nature Centerで行えればと考えています。

園舎の工事は来年度以降24年度～25年度になろうかと思えます。

園舎については改めて詳しくお知らせしますが、地震をはじめとする様々な自然災害に耐えうる構造にした上で、周囲の自然と融合したシンプルな平屋（1階建て）園舎を予定しています。

新しい幼稚園は園舎も大切ですが、何より大切にしたいのは園庭環境です。一般的な幼稚園にみられる「遊具を点在させて・・・」という概念はこの地には当てはまりません。都内幼稚園最大面積の広大な平地・斜面・森という豊かな地形をどのように活かしていくかということにつけるかと思えます。その際に大切なのは「実際に子ども達に遊んでもらう」ということです。今年年長さんがその第一歩を築く予定でしたが、雨天のため9月に延期することになりました。現状はただの「草はら、荒れ地」といった環境ですが、敢えてこの一見「何もない環境」を、子ども達がどう受け止め、遊んでいくかを観察しながら、多くのヒントを得て園庭創りに活かしていきたいと考えています。

一方で、現在の園庭で子ども達の遊びを見てみると、幼児にとっての「理想の距離感」というものがあるように感じます。個々の環境が互いに繋がり合って遊びが広がり深まっていくと言う意味で、現在の園庭の距離感は「理想的」と言えます。現在は園庭の周囲が団地ですが、移転後は周囲が森になる・・・という大きな環境変化はあるものの、基本的な園庭の構成は現在の要素がベースになろうかと思えます。

そして、園庭創りに欠かせないのが、保護者の皆様の力です。新しい幼稚園に、「業者にすべて創ってもらおう」という概念はありません。せっかく幼稚園を創るのに、全て「業者任せ」では勿体ないのです。ゼロからの幼稚園創りに保護者の方が関わるという機会は滅多に無いことです。お子さんが「この幼稚園はお父さん・お母さん達が創ったんだよ」と自慢し、愛着をもてるということは素晴らしいことです。今後、様々な場面で園からお声かけをしていきます。既に「手伝いますよ！」という嬉しいお声も頂いておりますが、今後、多くの皆様のお力を頂けましたら幸いです。

最後に、心から離れないのは卒園生の思いです。「東京ゆりかご幼稚園」という幼稚園が今後も永続的に存在し発展し続けていくために、今回のプロジェクトが重要であることは、大人としては理解できても卒園生としては複雑な思いがあることでしょう。こうした思いを私達はしっかり受け止めたいと思えます。そしてその大勢の皆さんの思いを胸に、未来に向かって更に良い幼稚園を創っていく覚悟です。そして、園児だけでなく卒園生も集い、大いに関われる幼稚園を創っていきたくと考えています。

園長 内野彰裕